

令和2年度 部長政策宣言

中間報告

企 画 管 理 部 長

財 務 管 理 部 長

市 民 生 活 部 長

福 祉 保 健 部 長

産 業 経 済 部 長

都 市 整 備 部 長

上 下 水 道 部 長

市 民 病 院 事 務 局 長

会 計 管 理 者

教 育 委 員 会 事 務 局 長

消 防 長

令和2年度 企画管理部長「政策宣言」中間報告

企画管理部長 島 木 康 太

○ 令和2年度重要事業

事業名	地域の特性を生かしたまちづくりの推進
目 標	地方創生推進交付金を活用し、クロスベイ新湊を中心とした地域活性化や賑わい創出に取り組むとともに、まちづくり団体や高等教育機関の学生等との意見交換を踏まえ、将来にわたり夢と希望があふれる小杉駅周辺地区のまちづくり基本構想策定に取り組めます。
進 捗 状 況	クロスベイ新湊が本年8月1日にオープンし、定期的なマルシェやeスポーツの開催等を通じて、にぎわいの創出に努めました。また、地方創生推進交付金を活用し、新たな地域公共交通「べいぐるん」や、新高岡駅や小杉駅を結ぶ周遊バスの実証運行も開始するなど、アフターコロナを見据え、交流人口の受入体制の充実に努めました。 加えて、本市の陸の玄関口である小杉駅周辺の将来像を描くため、地域のまちづくり団体や関係機関等で構成する小杉駅周辺地区まちづくり基本構想策定協議会を設置し、協議を進めました。
今後の対応	射水ベイエリアの拠点であるクロスベイ新湊を中心に、地方創生推進交付金を活用した事業とも連携を図り、引き続き、地域のにぎわい創出に努めます。また、小杉駅周辺のまちづくりについては、策定協議会で議論等を深め、地域の方々とともに基本構想を策定します。

事業名	行財政改革の推進
目 標	公共施設の再編・長寿命化に向けた個別施設計画の策定をはじめ、よりわかりやすい事務事業評価の実施や第4次行財政改革集中改革プランの改訂など、質と量の両面からの行財政改革を着実に進めます。
進 捗 状 況	公共施設個別施設計画については、策定スケジュールや構成案等を9月議会で報告したほか、特別会計を含む主要事業を対象とした事務事業評価を3年ぶりに再開しました。 第4次行財政改革集中改革プランについては、健全財政の堅持に向けた取組に加え、コロナ禍を踏まえた規制・制度の見直しや行政のデジタル化など、新たに12項目を追加した令和2年度改訂版を9月に公表しました。
今後の対応	12月議会で公共施設個別施設計画の素案を報告し、パブリックコメント等を実施した上で、来年3月末には計画を策定・公表できるよう事務を進めてまいります。 併せて、集中改革プランの着実な進捗を図り、とりわけ行政手続における押印の取扱いについては、今年度中の見直しに向け、集中的に取り組めます。

事業名	人口減少対策の推進
目標	危険空き家の解体や流通促進、未然防止などの空き家対策事業を迅速に推進するとともに、宅地取得支援や若者向けの家賃補助など移住定住支援事業を着実に実施し、定住人口の増加に努めます。
進捗状況	新型コロナウイルス感染症拡大により景気が後退する中、市内不動産の流通や、新たな地方移住・在宅勤務などの「新しい生活様式」を促進するため、住宅用地の購入費や、空き家を活用した移住者向けの住宅、サテライトオフィス、店舗等への購入改修費を助成する制度を創設し、定住人口・関係人口の創出に努めました。
今後の対応	市全域において増加傾向にある空き家を地域資源と捉え、移住定住者の受け皿創出や宿泊・飲食施設、交流施設など用途変更を行い、地域活性化・にぎわい創出を促進します。

令和2年度 財務管理部長「政策宣言」中間報告

財務管理部長 一松 教進

○ 令和2年度重要事業

事業名	税財源の確保等健全な財政運営
目標	<p>新型コロナウイルス感染症に伴う市税等への影響の把握に努めるとともに、公平公正な賦課徴収の実施、スマホ決済の拡充など多様な納付環境の整備や滞納整理の強化により税財源の確保に努めます。</p> <p>また、中長期的な財政見通しを踏まえ、引き続き、計画的な市債の繰上償還や基金への積み立てなど、健全な財政運営に努めます。</p>
進捗状況	<p>新型コロナウイルス感染症対応に伴う市税条例の一部を改正し、税制上の措置を講じるとともに、スマホ決済の拡充による納付環境の整備に努めました。</p> <p>また、9月補正予算において、令和元年度決算上剰余金を活用し、約7億7千万円を財政調整基金へ積み立てました。</p>
今後の対応	<p>引き続き、令和3年度固定資産税にかかる減免制度の周知に努めるとともに、納税の猶予、滞納整理の強化等公平公正な賦課徴収に努めてまいります。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響等により、今後とも厳しい財政運営が想定される中、将来を見据え、健全財政を維持していく取組を進めていきます。</p>

事業名	防災・減災対策の推進
目標	<p>洪水ハザードマップを活用し、水害発生時の避難行動について周知啓発を行うなど、引き続き、防災・減災意識の高揚を図ります。</p> <p>また、自主防災組織のリーダーの育成や活動支援に努めるとともに、市職員の研修や訓練の実施など、災害時における迅速な対応ができる態勢づくりに努めます。</p>
進捗状況	<p>洪水ハザードマップを活用し出前講座、ケーブルテレビ、広報紙等により市民に対して周知啓発を行い、防災・減災意識の高揚を図りました。</p> <p>市総合防災訓練においても、地域の住民と市職員が連携し、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設訓練を実施しました。</p>
今後の対応	<p>引き続き、出前講座や地域の防災訓練等の機会を捉え、防災・減災意識の高揚を図ります。</p> <p>また、自主防災組織及び防災士等の地域防災リーダーの育成に努めます。</p>

事業名	RPA及びIoTを活用した情報政策
目標	<p>行政課題の高度化、多様化が進む中、限られた人員で市民サービスを維持・向上させていくため、システムのデータ入力や更新等の定型的な業務をソフトウェア型ロボット（RPA）により自動化するなど、最新の情報技術を活用した業務の効率化に努めます。</p> <p>また、地域の安全や安心に関わる地域課題の解決や市民サービスの向上を図るため、IoTを活用した実証実験に引き続き取り組みます。</p>
進捗状況	<p>ソフトウェア型ロボットにより、福祉や税に関する10業務の自動化を開始し業務の効率化を図るとともに、対象業務の拡大に向け、新たに3業務を選定しました。</p> <p>また、台風や豪雨等による浸水への対策や、迅速な避難行動の判断を行うため、排水路やため池における水位の常時監視のほか、公共交通、公共施設の利用者数の把握等、IoTを活用した実証実験に取り組みました。</p>
今後の対応	<p>新たに選定した3業務について、ソフトウェア型ロボットによる自動化を開始し、さらなる業務の効率化を図ります。</p> <p>また、IoTについては、実証実験の効果検証を行い、効果が認められる事業について来年度の運用開始を目指すとともに、対象業務の拡大に努めます。</p>

令和2年度 市民生活部長「政策宣言」中間報告

市民生活部長 板山 浩一

○ 令和2年度重要事業

事業名	持続可能な公共交通網の構築
目標	昨年度策定した「射水市地域公共交通網形成計画」に基づき、コミュニティバス等の運行について、効率化と利便性の向上に向けた路線再編に着手するなど、持続可能な公共交通網の構築に取り組みます。
進捗状況	学識経験者や公共交通事業者などで組織する協議会で、コミュニティバス等の路線再編プランの骨子案について協議を行い、9月議会で進捗状況の報告を行いました。
今後の対応	引き続き、持続可能な公共交通網の構築に向け、協議会等との協議を進め再編プランを策定します。

事業名	プラスチック資源循環事業の推進
目標	プラスチック廃棄物を資源として循環させる運動を展開するため、プラスチック資源循環基礎調査を実施するとともに、再利用の推進や削減について協議する検討会を設置し、プラスチック・スマート都市を目指します。
進捗状況	市内から発生するプラスチックごみの現状を把握するための調査を実施するとともに、学識経験者や事業者及び市民団体等で構成する「射水市プラスチック資源循環検討会」を設置しました。
今後の対応	調査報告を基に検討会において協議を進め、海洋プラスチックごみや二酸化炭素削減に向けた取組を推進します。

事業名	協働のまちづくり事業の推進
目標	多くの市民の方にまちづくりへの興味や関心を高めてもらうため、引き続き「射水まちづくりプラットフォーム」及び「射水まちづくりセミナー」を実施するほか、新たに「NPO 団体等連携強化事業」として、まちづくりに携わる団体のネットワーク化の促進と連携強化に努めます。
進捗状況	「射水まちづくりプラットフォーム」及び「射水まちづくりセミナー」については、それぞれ10月までに全3回のうちの2回を開催しました。 また、新たに「NPO 団体等連携強化事業」として8月に第1回射水市まちづくり関係団体連絡会議を開催しました。
今後の対応	引き続き、参画と協働によるまちづくりの促進に努め、協働の担い手の育成・発掘に努めるとともに、まちづくりに携わる団体のネットワーク化の促進と連携強化に取り組みます。

令和2年度 福祉保健部長「政策宣言」中間報告

福祉保健部長 小見光子

○ 令和2年度重要事業

事業名	福祉計画の策定
目標	「射水市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画」、「第6期障害福祉計画」及び「第3次射水市食育推進計画」を策定するとともに、各福祉分野の上位計画である「第2次地域福祉計画」を策定し、様々な地域生活課題についても、分野横断的、多機関協働で取り組む方針を示し、地域共生社会の実現を目指します。
進捗状況	各計画について、ニーズや課題把握のためのアンケート調査等を実施し、それぞれの策定委員会で基本理念や基本目標等を確認しました。
今後の対応	策定委員会等で素案についての意見交換を行うほか、市民に向けたパブリックコメントを行い、そのご意見等を踏まえ、地域共生社会の実現に向けて、それぞれの計画を策定します。

事業名	子育て支援の推進
目標	今年度から実施する第二期子ども・子育て支援事業計画に基づき、子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援する環境を整備してまいります。
進捗状況	本年4月には幼保連携型認定こども園「新湊うみいるこども園」が開園したほか、市立大門わかば幼稚園を幼稚園型認定こども園に移行するなど、多様化する保育ニーズへの対応を図りました。 また、産後2か月以内の赤ちゃんがいる家庭にヘルパーを派遣し、家事や育児支援を行う産後家事サポート事業を開始するなど、新規事業を含め着実に取り組みました。
今後の対応	引き続き、子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援する環境の整備に取り組みます。

事業名	社会保障の充実
目標	ひきこもりや8050問題など複雑化・多様化した社会的課題に対応するため、自立相談支援機関の機能を強化します。また、ひきこもりサポーターの養成や切れ目のない相談・支援体制の整備に取り組んでまいります。
進捗状況	射水市ふくし総合相談センター「すてっぷ」を射水市社会福祉協議会内に開設し、ひきこもりや生活困窮等各種相談体制の強化を図りました。
今後の対応	ひきこもり対策としてサポーター養成研修の実施や集いの場となる「すてっぷカフェ」を開設します。切れ目のない支援を実施するため、情報共有や事例検討等による関係機関とのネットワークの強化を図ります。

事業名	健康寿命の延伸と認知症対策の充実
目標	<p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に取り組み、健康寿命の延伸を図るとともに、軽度認知障害（MCI）の方を早期に発見し支援につなげるための「認知機能検診事業」や、ICTを活用し認知症による行方不明者を検索する「みまもりあい事業」を新たに実施するなど、認知症対策を充実します。</p>
進捗状況	<p>保健事業と介護予防との一体的実施では、ハイリスク者に対する個別的な対応を行うとともに100歳体操グループなどの高齢者の通いの場に対し、フレイル予防等の健康教育や健康相談を実施しています。</p> <p>認知症対策としては、認知機能検診事業を開始し、認知症の早期発見、早期対応に努めました。また、認知症高齢者が行方不明になった時にスマートフォンを活用し検索する「みまもりあい事業」の実施により、地域みなさんで認知症高齢者を見守りあう街づくりを推進しました。</p> <p>加えて、健康寿命の延伸を目指し策定した「第2次射水市健康増進プラン」に基づき、子どもから高齢者まで一人ひとりが自ら健康な生活習慣に取り組めるよう、8つの行動目標「Let'sトライ IMIZUSHI 健康8」について、市政出前講座や健康づくりボランティアへの研修を通して普及啓発を図りました。</p>
今後の対応	<p>引き続き市民の皆さんの健康づくりを支援し、保健事業と介護予防の一体的実施に取り組み、健康寿命の延伸を目指します。</p> <p>コロナ禍においても自宅で介護予防に取り組めるようケーブルテレビ等を利用し、フレイル予防の講座を放映するなど情報発信を行っていきます。</p> <p>また、出前講座を通じて「認知機能検診」や「みまもりあい事業」のPRに努めます。</p>

令和2年度 産業経済部長「政策宣言」中間報告

産業経済部長 谷口正浩

○ 令和2年度重要事業

事業名	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中小企業等への支援
目標	同感染症の影響により経営に多大な影響を受けている中小企業等（小規模事業者を含む。）の資金繰り等支援策として、市独自の助成制度を実施します。
進捗状況	市独自に、県制度融資に係る信用保証料の全額助成制度や、国の持続化給付金の給付対象とならない中小企業等に対する支援金給付制度を新設するなど、厳しい経営環境に立たされている中小企業・個人事業者を支援しました。その他影響が著しい飲食店への支援策として、各世帯に1,000円分のクーポン券「うまいもん券」を配布して利用の啓発を図るなど多様な支援に努めました。
今後の対応	事業の見直しや新たな生活様式、多様な働き方に沿った事業展開等を行う際の費用などに幅広く活用できる「中小企業等事業向上補助金」の新設や「うまいもん券」第2弾の実施など更なる支援を行います。

事業名	観光客受け入れ環境の充実
目標	クロスベイ新湊は、観光客への観光情報の提供はもとより、公共交通ターミナルとして市内移動の拠点となることから、これを軸とし、内川周辺ほかベイエリア、更には、市全体へ波及できるように観光客の受け入れ環境の充実を図ります。
進捗状況	内川周辺の見どころや周辺店舗を紹介した冊子「内川さんぽ」を改訂し、内川周辺のまち歩きのための情報発信を行うとともに、クロスベイ新湊内に冊子と同様の周辺マップと店舗紹介ブースを設置しました。
今後の対応	引き続き観光協会と連携し、クロスベイ新湊において、観光客への情報発信の充実を図ります。

事業名	大区画ほ場整備の推進
目標	生産性の向上に資するICT等を活用したスマート農業が展開できるよう「ほ場の大区画化」を推進し、農業の持続的な発展と農村環境の保全を図ります。
進捗状況	水戸田地区については、工事が終了し現在換地作業中です。また、島地区については事業採択に向け事業調査が終了し、来年度の国の事業採択に向け準備を行いました。 加えて、作道地区においては、令和4年度の事業採択に向け調査を開始しました。
今後の対応	ほ場整備を要望する地区が多くあり、引き続き生産性の向上や労働の負担軽減に向け、勉強会等を行いながら、積極的に支援します。

令和2年度 都市整備部長「政策宣言」中間報告

都市整備部長 島崎 真治

○ 令和2年度重要事業

事業名	生活環境の充実
目標	交流が盛んで魅力あふれるまちづくりを図るため、越中大門駅前線をはじめとする生活環境の整備を進めます。 また、身近な憩いの場である公園施設については、計画的な更新や補修により機能の充実を図ります。
進捗状況	越中大門駅前線及びいみず市民交流プラザ前面道路の歩道整備を進めました。また、公園施設については、危険性や緊急度に応じて計画的に更新が行なえるよう、「公園施設長寿命化計画」の策定に取り組んでいます。
今後の対応	引き続き、計画的な事業推進に努めます。 また、公園施設については、適切な維持管理に努めます。

事業名	道路施設の適正な維持管理
目標	安全で快適な交通環境を確保するため、定期的なパトロールや道路施設の点検を実施し、損傷や老朽化の著しい路線の補修工事を進めます。 また、橋梁等の重要構造物については、長寿命化並びに耐震化工事を計画的に実施します。
進捗状況	道路パトロールを定期的を実施し、損傷個所の早期修繕を行うとともに、舗装修繕については、道路舗装個別施設計画に基づき、4路線を施工中です。 また、橋梁の長寿命化及び耐震化工事については、1橋を施工中です。
今後の対応	引き続き、橋梁の長寿命化等を推進するとともに、適切な道路の維持管理に努めます。

事業名	木造住宅の耐震化促進
目標	全国で相次ぐ地震による住宅被害が多く発生していることを踏まえ、市民の生命・財産を守るため、引き続き「木造住宅耐震改修支援事業」を実施し、木造住宅の耐震化を進めます。
進捗状況	これまでに耐震診断2件、耐震改修等4件に対して補助を行いました。また、市内2カ所の住宅相談所による相談窓口を開設し、相談を受け付けています。 今年度からは、納税通知書に「木造住宅耐震改修支援事業」補助制度のチラシを同封し、木造住宅耐震化の啓発に努めています。
今後の対応	引き続き木造住宅耐震化の啓発に努め、市内の未耐震住宅の解消に取り組みます。

令和2年度 上下水道部長「政策宣言」中間報告

上下水道部長 前川 信彦

○ 令和2年度重要事業

事業名	水道施設整備事業
目標	災害時においても安全・安心な水の供給が持続できるよう、主要施設の整備や耐震化をはじめ、効果的な管路更新を推進し、水道インフラ全体の強じん化を図ります。
進捗状況	9月に上野第3調整池の耐震補強及び大規模補修を完了し、供用開始しています。配水管更新事業についても計画に基づき、順調に進捗しています。
今後の対応	6月に公表した「水道事業ビジョン」に基づき、計画的に主要施設の耐震化や配水管更新事業を実施し、安定供給と耐震化の推進に取り組みます。

事業名	雨水対策事業
目標	近年の局地化・集中化・激甚化する豪雨による浸水被害の軽減を図るため、既に整備を進めている片口地内をはじめ、新たに着手する枇杷首、庄川本町地内の雨水対策施設の早期整備に努めます。
進捗状況	工事発注に向け、関係機関等と調整を図っており、片口地内及び枇杷首地内の雨水対策施設工事については11月上旬の発注を見込んでいます。
今後の対応	安全かつ確実な工事進捗を図るとともに、庄川本町地内における雨水対策施設工事の早期発注に努めます。

事業名	安定的な事業運営
目標	上下水道事業を取り巻く環境の変化や頻発する自然災害に対応し、安定的な運営を実現するための新たな「水道ビジョン」及び「下水道ビジョン」を6月に公表します。 また、2年目を迎える包括業務委託では、お客様サービスの向上や業務効率化などの委託効果の拡大に努めます。
進捗状況	水道及び下水道ビジョンを6月に公表しました。また、包括業務委託では確実な業務移行を行い、民間ノウハウを活かした業務改善提案も一部開始しています。
今後の対応	ビジョンに基づく計画的な事業運営に努め、2年目を迎える包括業務委託では、委託効果を明確にするための取組を強化していきます。

令和2年度 市民病院事務局長「政策宣言」中間報告

市民病院事務局長 衛 栄理子

○ 令和2年度重要事業

事業名	新型コロナウイルス感染症に対応した医療提供体制の維持
目標	<p>県内の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に応じた医療提供体制・療養体制の構築に、県内公的病院の一員として積極的に寄与するよう努めます。</p> <p>また、帰国者・接触者外来の運用にあたっては、十分な院内感染防止策を講じ、入院・外来患者に安全で最適な医療の提供に努めます。</p>
進捗状況	<p>帰国者・接触者外来に微細なウイルスも取り除ける空気清浄機付きパーティションを備え、感染対策を万全にして運用しました。</p> <p>また、感染者が判明した場合は、速やかに厚生センターに連絡し、指定医療機関への入院に繋ぐだけでなく、新型コロナウイルスまん延に備え、入院体制を整えました。</p>
今後の対応	<p>冬季のインフルエンザ流行期に備え、正面玄関及び時間外出入口付近の感染防止のための工事を予定しています。今後も院内感染対策を万全にし、医療提供体制の構築に努めます。</p>

事業名	地域医療の確保と健全な病院運営の推進
目標	<p>地域医療を担う公的病院として、市民の健康と命を守るため、安心・安全な医療の提供に努めます。</p> <p>また、救急医療、急性期医療体制を堅持しながら、引き続き経営の効率化を図り、健全な病院運営に努めます。</p>
進捗状況	<p>救急患者など急性期医療だけでなく、地域の医療機関からの紹介を受けた一時的な入院も受け入れています。</p> <p>また、経営改善策を検討するため、医療圏での医療動向を調査し、運営協議会で協議しました。</p>
今後の対応	<p>地域の医療ニーズを把握するため、医療機関アンケートを実施予定です。アンケート結果を基に分析し、経営改善に努めます。</p>

事業名	医療提供体制の充実
目標	<p>地域包括ケアシステムを支える基幹病院として、急性期から回復期まで、安心して気持ちよく医療が受けられるよう療養環境の整備に努めます。</p> <p>また、高度医療機器の更新など診療機能の向上を図ります。</p>
進捗状況	<p>病棟外壁改修工事を繰り越し事業として実施し、北側部分が終了しました。また、様々な疾患の判定に有用な最新の脳波計に更新しました。</p>

今後の対応	病棟外壁改修工事を早期に完了するよう努めます。 また、アレルギーなどを事前に判定する処方チェックシステムを導入し、医薬品の安全使用を図ります。
--------------	--

令和2年度 会計管理者「政策宣言」中間報告

会計管理者 夏野吉史

○ 令和2年度重要事業

事業名	公金の安全でより効率的な管理・運用
目標	正確な収支見通しの把握に努めるとともに、安全性の確保を最優先とし、より効率的な公金の管理・運用を図ります。
進捗状況	市税、地方交付税等の収入状況、工事請負費等の支払見込及び前年度の収支実績等を参考に正確な収支見通しの把握に努めました。 また、公金の管理・運用については、安全でかつ有利な定期預金等での運用のほか、基金の一部を活用し債券運用を行い利子収入の確保に努めました。
今後の対応	引き続き、安全でかつ有利な公金管理と資金運用に努めます。

事業名	公金取扱状況検査の実施
目標	各課・出先機関等への公金取扱状況検査を実施し、適正な会計事務が行われるよう指導するとともに、公金の取扱いに対する職員の意識向上を図ります。
進捗状況	今年度予定の14か所（金融機関2か所を含む。）のうち、4か所で現地調査を実施し、適正な執行の確認と事務の指導を行いました。
今後の対応	残る10か所については、2月末までに実施します。

事業名	適正な会計事務の執行
目標	法令等に基づき、厳正かつ迅速な伝票審査を行い、公金の適正で確実な支払事務の執行に努めます。
進捗状況	会計事務担当職員に対し、適切な会計処理と事務の効率化を図るための指導を目的とした研修を実施しました。
今後の対応	引き続き、適正かつ確実な支払事務の執行に努めます。

令和2年度 教育委員会事務局長「政策宣言」中間報告

教育委員会事務局長 原 宗 之

○ 令和2年度重要事業

事業名	ICT教育の充実
目 標	<p>新型コロナウイルスなどの感染症や災害の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、子どもたちの学びを保障できる環境を確保するため、国が推進するGIGAスクール構想の実現に向けて、学校の高速大容量の通信ネットワーク整備等のICT周辺環境整備を計画的に進めます。</p> <p>あわせてICTを活用した学習スキルやプログラミング学習、情報モラル等について教員研修の充実を図ります。</p>
進捗状況	<p>GIGAスクール構想の実現に向けて、高速大容量の通信ネットワーク整備を進めているほか、タブレットパソコンを年内中に児童生徒一人ひとりに配備する予定です。</p> <p>また、ICT機器の活用やプログラミング学習に関する教員研修を行いました。</p>
今後の対応	<p>新型コロナウイルス感染症等による学校の臨時休業等に対応するため、オンライン授業のための周辺機器の整備を進めています。また、ICT機器を活用した授業力の向上を図るためICT支援員の増員を図ります。</p>

事業名	確かな学力の定着
目 標	<p>教員の児童生徒に接する時間を十分確保し、教育の質の維持・向上を図るため統合型校務支援システムを導入します。</p> <p>また、外国人児童生徒が円滑に学校生活を送れるよう外国人相談員の増員やAI翻訳機の導入を図るとともに、引き続き、小学校にALT及び外国語活動指導員を配置し、英語教育の充実を図ります。</p>
進捗状況	<p>統合型校務支援システムは、新年度からの本格実施に向けて整備を進めており、11月に教員を対象に操作説明会を行います。</p> <p>また、外国人指導員を新たに1人増員したほか、AI翻訳機を各学校に整備しました。</p> <p>加えて、小学校にALT4人、外国語活動指導員4人を配置し英語教育の充実を図りました。</p>
今後の対応	<p>引き続き、教員の児童生徒に接する時間を十分確保できるように努めるとともに、個々の児童生徒が円滑に学校生活を送れるよう、学力と理解度に応じた学習指導を推進します。</p>

事業名	地域における教育の充実とスポーツの振興
目標	<p>放課後の子どもたちの安全安心な居場所を確保するため、放課後児童クラブとさんさん広場を増設し、子育てを応援します。</p> <p>市民のスポーツに親しむ機会を提供するため、スポーツ施設の適切な維持管理を図るとともに県西部唯一となる人工芝グラウンドを有するフットボールセンターの整備に向け、実施設計に着手します。</p>
進捗状況	<p>小杉地区センター二階に歌の森小学校児童を対象とした放課後児童クラブを増設したほか、ヨシダ大島体育館や本江コミュニティセンターにさんさん広場を新設しました。</p> <p>また、フットボールセンター整備については、国の交付金事業に採択されたことから実施設計に着手しました。</p>
今後の対応	<p>コロナ禍において放課後児童クラブを継続的に開設するため、マスクや消毒液などの衛生用品の購入を図るなど、引き続き感染予防対策に努めます。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対策として新湊アイシン軽金属スポーツセンターの換気設備を更新します。このほか、令和3年度末までにフットボールセンターを整備するため、今年度末までに実施設計書を作成します。</p>

令和2年度 消防長「政策宣言」中間報告

消防長 木 田 徹

○ 令和2年度重要事業

事業名	事業所の防火・防災管理の徹底
目 標	防火管理者の未選任や消防用設備等の未設置等、重大な消防法令違反がある不特定多数の人が利用する建物には、消防法上の権限を適切に行使し、徹底して違反是正に取り組みます。
進捗状況	立ち入り検査を行い、丁寧な指導を繰り返した結果、重大な消防法令違反対象物の数が8件から4件に減少しました。
今後の対応	今後も継続的に指導を行い、違反是正に取り組みます。

事業名	救命率の向上
目 標	病気やけがを未然に防いだり、悪化させないための具体的な予防策等をホームページや地域のイベント、講習会等を通じて発信し、予防救急を推進します。また、応急手当の普及啓発、高度な救命処置が行える救急救命士の養成など救急救命体制の強化を図り、救命の連鎖を強化します。
進捗状況	新型コロナウイルス感染症の影響で、救命講習会を中止していた期間があり予防救急の推進を図ることはできませんでした。救急救命士の養成については、救急救命東京研修所の入校日が1か月以上遅れましたが、その間インターネットによる自宅研修があり今年度内には1名の研修が終了する予定です。
今後の対応	少しずつ再開した救命講習会等の機会を利用し、予防救急について普及啓発します。

事業名	大規模災害への対応力の強化
目 標	地域における様々な世代の防災の担い手が連携して取り組む、地域の防火・防災訓練を技術面で支援します。 大規模災害が発生したときには市民の方が自ら行動を起こし、避難誘導・初期消火・応急救護など災害に対し力強く立ち向かえるよう災害対応力の強化を図ります。
進捗状況	自主防災訓練等の機会がほとんどなく、災害対応力の強化を図る機会がありませんでした。
今後の対応	新型コロナウイルス感染症による規制が緩和されてきており、今後の自主防災訓練等の機会に普及を図ります。